

論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 尾 崎 茜
論文審査委員	主 査 畠 山 雄 次 印
	副 査 古 村 南 夫 印
	副 査 日 高 真 純 印
論文題目	Serum affects keratinization and tight junctions in three-dimensional cultures of the mouse keratinocyte cell line COCA through retinoic acid receptor-mediated signaling
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>平成 30 年 12 月 13 日付研究科委員会にて受理された本学位申請論文について、平成 31 年 1 月 22 日に公開予備審査会を実施した。本論文は、これまで表皮細胞培養において血清、特に血清中のビタミンAはケラチノサイトの増殖分化および角化に影響を与えることが報告されてきたことから、マウス表皮細胞の三次元培養における血清の影響について検討をおこなっている。その結果、三次元培養において低 Ca 血清の濃度依存的に表皮細胞角化マーカーの発現を消失、同時に非角化マーカーを発現し組織学的検討により非角化重層扁平上皮を形成することが示された。またレチノイン酸受容体阻害剤添加によりこれらのマーカー分子の発現が逆転し、角化重層扁平上皮を形成することが示された。さらに低 Ca 血清はタイト結合タンパクの発現に変化を引き起こすことを示し、細胞間透過性を亢進させたことを示した。本研究は血清の表皮細胞の角化に与える影響について三次元的培養により検討した点で大変有意義な研究であるが、論文審査委員よりいくつかの質疑があった。そこで平成 31 年 1 月 31 日に論文審査委員により追加審査を実施した。追加審査において質疑に対する的確な回答および実験結果を示し、さらに追加レポートを行い、これらの審査により、申請者が明確な研究の背景および目的を有し、適切な実験方法により得られた結果を十分に考察していることを確認した。さらに主査および副査からの質疑に適切に回答し、本学位申請がすべての学位審査基準に達しているとの結論に達した。</p> <p>以上により、本研究は学位論文として適格であり、予備審査を合格と判定した。</p>	